



# 知床科学委員会 しんぶん

## エゾシカ・ヒグマ

## ワーキンググループ NO.21



知床半島のエゾシカとヒグマの適切な管理について有識者から意見を伺う、エゾシカ・ヒグマワーキンググループ会議が釧路で開催されました(2020年度第2回目:12月14~15日)。今回は主にエゾシカとヒグマの管理目標の達成状況、管理計画の見直しについて話し合いました。

### 必見! TOPIC

## 知床のシカ、減っていると思いませんか?



1990年代頃から急速に増えた知床のシカ。貴重な植物を食べてしまったり、農作物への被害を起こしたり、交通事故の原因になったり、多くの問題を引き起こしています。関係機関(環境省、林

野庁、北海道)では2017年に「第3期知床半島エゾシカ管理計画」を定め、シカの管理に取り組んできました。2021年は、この計画の5年に一度の見直し作業年にあたります。



▲銃やわなを使ったシカの捕獲を行っています。



▲シカが減り、10年前はゴルフ場のような知床岬でも草原植物(イネ科草本やヨブスマソウ)が繁茂するようになりました。

世界遺産地域とその周辺では、2007~2019年の13年間で**約11,000頭**<sup>※</sup>のシカを捕獲しました。植生が少しずつ回復してきています!

※斜里町は金山川以北、羅臼町は植別川以北のエリアで捕獲された数



▲2010年に斜里町の国道沿い(真鯉地区オンネベツ川付近)で撮影されたシカの群れ。最近はこの状況を見ることも少なくなりました!



2021年は、皆さんの身近に暮らすシカやヒグマの管理計画を見直す年です。計画の見直しにあたっては、住民向けの説明会や意識調査(ヒグマに関するアンケート)も予定しています。皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

注目！

## 5年に1回の

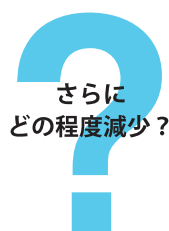
## 広域カウント調査

知床半島に生息するシカの数把握するため、ヘリコプターを飛ばし、上空からシカを数える調査を冬に行っています。

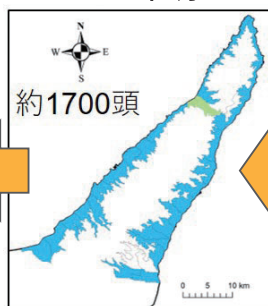
今冬は全30サイトを調査する5年に1回の広域調査が予定されています。広域調査はこれまでに3回行っており、シカの管理捕獲を行っている、知床岬やルサく相泊地区、幌別く岩尾別地区ではシカの数が増加していることが確認されています。



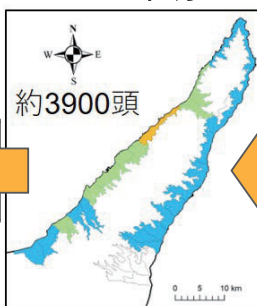
2021年予定



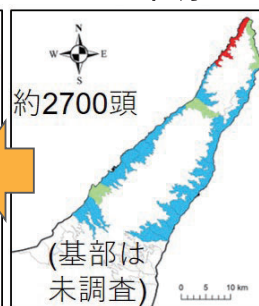
2016年2月



2011年2月



2003年3月



▲2003年、2011年、2016年に実施された広域調査によるエゾシカの発見頭数。  
※調査では森の中の見落としもあるため、実際にはさらに多くのシカが生息しています。

注目！

## 人身事故の発生を

## 想定した訓練

警察や消防も含めた関係者で11月30日に集まり、ヒグマによる人身事故の発生を想定した机上訓練を行ったことが会議で報告されました。

机上訓練では、実際に人身事故が発生したと仮定し、事故発生後の対応の流れを順番に確認、関係者間で起こりうる課題や解決方法を確認しました。

事故の発生を防止することは最優先ですが、万が一、事故が発生した際にも二次被害を防ぎ、円滑に対処できるよう、今後同様な訓練を継続していく予定です。



▲航空写真やホワイトボードを使いながら関係者で訓練を行いました。

《地域住民・旅行者の皆様へ》

ヒグマを見たら下記までご連絡をお願い致します

- 斜里町 0152-24-2775 (知床財団/日中)  
090-3778-4308 (知床財団/夜間・早朝)
- 羅臼町 0153-87-2126 (羅臼町役場産業課/24時間)
- 標津町 0153-82-2131 (標津町役場農林課林政係)

■問合せ先■

環境省釧路自然環境事務所

〒085-8639 北海道釧路市幸町10-3 釧路地方合同庁舎4階

TEL 0154-32-7500 FAX 0154-32-7575

会議内容や管理計画を更に知りたい方は下記 HP へ

知床データセンター

<http://dc.shiretoko-whc.com/>

※会議の様子は、知床データセンター > 会議資料 > 科学委員会+エゾシカ・ヒグマWGで見ることができます。



ヒグマ情報(生態や注意点)を発信しています

知床のひぐま

<https://brownbear.shiretoko.or.jp>

Facebook

@BearSafetyShiretoko

Twitter

@bear\_shiretoko

Instagram

@bear\_safety\_shiretoko



知床のひぐま